

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 農業-01 農業委員会事務 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	農業委員会事務局	関連課	産業振興課				
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	農地法に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用促進、農業経営の合理化を行う。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	344人	338人	359人			
事業の対価	8,003	7,555	7,456				
運営資源状況	(国・県)	20	20	739			
	(負担金等)	278	221	135			
	(一般財源)	7,705	7,314	6,582			
	人員配置数	3.1人	3.1人	3.1人			
	人件費(千円)	23,547	24,729	26,247			
	協働のパートナー						
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)	31,550	32,284	33,703		
	市民1人当りの経費(円)	177	182	190			
	対象者1人当りの経費(円)	91,715	95,515	93,880			
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
遊休農地解消面積(農地利用状況調査)	△	目標値	3.3ha	6.7ha	6.5ha	6.4ha	6.2ha
		実績値	3.2ha	6.7ha	7.5ha	7.5ha	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
農業委員会事務	8,003	農業委員会事務	8,057	今後の方向性	B	理由・手法	導入した農地管理システムを積極的に活用し、適切に農地管理及び、遊休農地の解消対策を行う。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	農地利用状況調査の現地調査を行う体制が十分ではない。農地法違反のうち、是正が進まない処理困難案件がある。遊休農地の解消が困難である。											
課題解決のための取組	事務の効率化・迅速化を図るため、農地管理システムを積極的に活用した。農地法違反対策として、県との連携を図りながら、定期的に農地パトロールを行い、使用者、地権者に指導を行った。遊休農地解消対策のため、遊休農地解消対策協議会により遊休農地の復元作業を行った。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決					
未解決の課題	農家の高齢化等により、遊休農地の面積が拡大している。農地法違反は、是正が進んでいる案件もある一方、是正が非常に困難な案件もある。											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	農地管理システムを運用し、農地法違反対策、遊休農地解消対策、利用状況調査、利用集積の事務の迅速化・効率化を図っていく。遊休農地解消対策では、企業等とも連携し、農地の復元作業を積極的に行っていく。また、農地法違反については、県との連携を維持し、粘り強い指導を続けていく。							➡	B	※□事業完了		

評価者名

農業委員会事務局長

茶木 久美子

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
農業委員会 事務	農地管理システムの運用、農地利用状況調査の実施、遊休農地解消対策実践活動の実施、農地法違反の是正対策				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		346	農業委員会委員報酬 16人	6,264	6,078	○	○	○	○
		346	収穫まつり入賞記念品	5	5	○	○	○	○
		346	農業委員費用弁償	52	31	○	○	○	○
		346	事務局職員普通旅費	94	46	○	○	○	○
		346	遊休農地解消対策事業等消耗品費	443	442	○	○	○	○
		1446	農地管理システム使用料	1,320	1,319	○	○	○	○
346	農業委員大会用バス賃借料	74	74	○	○	○	○		
346	農業委員会職員事務研究会会費負担金	8	8	○	○	○	○		
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※ <input type="checkbox"/>	事業完了								